

「ほな、次いこかあ。

いんで、みよかあ」

シリーズ vol 10 (非公開版)

"Well now, to the next go now.

Let`s go there, don`t you!?"

series vol 10. (Non official ver.)

うときゅう いっき

by Khazu san

物書き

うときゅういっき



目次 (Agenda)

-contents-

●本編掌編小説 1

「♪アブナイ刑事♪？じゃなくて、

♪危ないって、か♪？」

(English expression ver.)

“Is it too dangerous to open for public?”

●本編掌編小説 2

(Japanese expression ver.)

「神様だって、ご迷惑でしょうに、ヨ！！」

(English expression ver.)

“Even gods side, might feel troublesome!!”

●本編掌編小説 3

(Japanese expression ver.)

「♪長過ぎちゃって、困ま～るの～♪」(正解は、長短色々取り混ぜて?)

(English expression ver.)

“♪Too long causes troublesome♪”(correct answer is long, short mix type, case by case or not?)

●著者プロフィール(Writer`s profile)

序

2022/8/30

芭蕉に倣う

On seeking for new way of little bit long Japanese “Haiku” style.



「芭蕉の俳句が手本。このコンセプトを活かし、今少しガイド的な言葉添えをした新しい表現形式が出来ないものか？」

本書はその訓練に掌編小説を原稿箋3枚以内で書き表すトライアル・シリーズで御座います。

本編

2025/1/9

9th Jan. 25

(Japanese expression ver.)

「♪アブナイ刑事♪？じゃなくて、
♪危ないって、か♪？」

(English expression ver.)

“Is it too dangerous to open for public?”



(Japanese expression ver.)

「♪アブナイ刑事♪？じゃなくて、♪危ないって、か♪？」

「人間て結構ズルい。所謂「庶民」の間でもかなり高度なレベルの図り事が、極めて日常的になされている様な気がする。よくもまあこういう奸計、思いつくよね。思いついただけじゃなくて実行するよね。って言う事が多いのに驚いた。何もリーダー層ばかりの専売特許でも、なさそうだ。お上だけ汚くて、庶民は奇麗という単純な話でもさそうだ。」

「マタマタあ、藪から棒に…」

「お前、「ふみえ」ってしってる？」

「知らないわよそんなの。なんでアタイがお前さんの昔の女の名前知ってんのよ。「文江」なんて知らないわよ。ムスッ」

「ちゃうちゃう。女の名前の「文江」じゃなくて、我が国の鎖国時代、其の信者は、現世の処罰を恐れぬ故、体制転覆の恐れがあるという事で、キリスト教は御法度。それをすり抜けてまで、していた日本人キリスト教信者、俗にいう「隠れキリシタン」は弾圧されたんだが、その、お上に隠れて信心し続けていた「隠れキリシタン」あぶり出しの道具として使われたのが御教祖様のキリストさんの御姿を描いた「絵」だったんだ。その尊い御教祖様の絵姿を踏めれば「隠れキリシタンではない」。踏めなければ「隠れキリシタンだ」と判定されて、火あぶりの刑や拷問の刑に処せられたんだ」

「あら、ヤだ。こわ〜っ。熱そう。痛そう！！ぶるるるっ。あの星での我が身に起きたむごすぎる仕打ち思い出しちゃって、身震いが起きるわ！！」

「で、我が国では、此の隠れキリシタンの悲劇を扱った小説「沈黙」という本が出たんだが、沈黙の意味は、信徒が、斯くも悲惨な目に合っているのに「ご本尊の神様」は何故だまっておられるのか、救いの手を差し伸べないで、沈黙を通しておられるのか？という意味で付けられたタイトルらしいんだ…」

「だから、それが一番初めの話とどう関係、あんのよ。今の処、アタイにはお前さんが何を言いたいのか、ジェンジェンわからんと、よ」

「詰り俺が言いたいのは、我々はいくつかの思い込みをしていたんじゃないのかな？って言う事と、そう思い込まされていたんだったら、そう思い込ませた奴の奸計とその実行力に驚愕せざるを得ないって言う事なのね。俺は今の今迄、そうした奸計は特権階級だけに起こる限られたものだとばかり思っていたが、何のことは無い我々無名の人々の間にも日常茶飯事的に起っているという事の驚きだった。だって♪清く正しく美しく♪の弱者はそういったものとは、全く無縁な存在だと思っていたからな、俺。今の今迄疑いもしなかったからな、俺」

「！！！」

「一言で言うと、我が国国民の特性である「弱い者の味方」「判官びいき」気質をうまく利用して、壮大な布教活動を行ったんじゃないのかな？それに我々は一杯食わされていたんじゃないかって言う疑念よ」

「まだ、よくわかんない処もあるけど、先を続けてみて…」

「そもそもアニミズムに基づく「多神教」とは違って、どちらかという概念宗教の「一神教」の多くは、アニミズムに多く見られる「偶像崇拜」を禁止している。だったら「隠れ信徒」の命を守るために「どうせ絵なんて、偶像に過ぎないんだから、ドンドン踏んでイイよ」ともいえたはずだよな。その時の現場指導者は、信徒の命保持を第一優先に考えれば、そう言う論理根拠で。だのに其れをしなかった。

その点に関しては第二の疑問の処で話すが、其れに先んじてまずは第一の疑念として、もし、一般信徒側にも、そう言った認識があれば「踏み絵につかわれている絵は、御始祖様の身姿とは言え、単なる偶像。此処は敢えて踏んで、以降の布教活動に繋げた方がよろしいかと…」という意見がでて不思議ではない。だのにそう言う意見も出なかったんだろ

うし、命を落とす事が分っていたのに「隠れ信徒たち」は踏まなかった。とすれば何故、命を懸けて迄、踏まなかったのか？

ひょっとして、当時の隠れキリシタン一般信徒が怖れていたのは、尊敬する御教祖様の御姿を踏みつけた事に対する御教祖様から受けるのちのちの罰じゃなくて、周りの、同じ日本人信徒の眼を恐れての事だったんじゃないかな？」って言う疑念。

疑問に思っても、とてもそれを口に出して謂える雰囲気じゃなかった。言えば、「裏切り者」「卑怯者」と白い眼を向けられる怖れ。

兎に角我が国民の特性として、周りから白い眼を向けられるくらいだったら、むしろ死を選ぶみたいなどころあるからねえ。

「卑怯者」と呼ばれない為の特攻隊志願とか、身の潔白を証明するための自死とか、復員して「捕虜の辱めを受けて迄、おめおめと生きて帰りやがって」といわれるのを怖れての、自決とか、いろいろあるからねえ、我が国。

あと、さっき予告した第二の疑念は、「佐々木小次郎」との「巖流島の決闘」で有名な「宮本武蔵」の「五輪の書」だか、「葉隠れ」だかに触発されて「武士道とは死ぬことと見つけたり」に染まり、むしろ「意味ある死を求め」「死そのものを余り怖れない」元サムライ出身か何かだった現場指導者が、人々の裏の本当の心象を知りつつ、それを逆手に取って利用し、「恐らく、一般信徒は絵を踏まないであろう。そしてお上からひどい仕打ちを受ける。しかしそれが「判官びいき」体質満載の我が国国民に♪感動秘話♪として受け取られ、却って一番大きな布教効果を発揮する可能性がある」ということで、敢えて一般信徒にはリーダーが気付いていた偶像崇拜の件を告げずに、布教の為の犠牲になって貰ったんじゃないのか？

己自身も「悲劇の主人公（英雄）」になれると思うと、己の死を賭して迄、仲間を犠牲にして迄、「是は布教の為に致し方ない事なんだ。多大な犠牲を払うだけの価値のある事なんだ」と自らに言いきかせないといけないような事が、一瞬たりとはいえ密かに心中に芽生えたそう言ったどす黒い野望が知らぬ間に脳を支配していなかったかどうか？という疑念。

兎に角人間は表向きのエポックメイキングなイベントによってではなく、些細な事で意思決定して、その因果関係を誤認（真因を誤認）し、知らん間に見当違いな方向に駆けだして「転んでいたり」するもんだからなあ…

人間は周りの状況に応じて、特に異常時の場合、目の前で起こっている不条理を、平時では考えられない様な視点で合理化する傾向があるからねえ…

しかしそこ迄、どす黒くはなかったとしても、リーダーが「偶像崇拜をするな」の一件を持ち出して「御姿」を踏んでも良いぞ」と言えば、逆に一般隠れ信徒側から「リーダーのくせに「何という事を」「裏切り者」と罵られ、白眼視される事をリーダー自身が怖れたからかもしれない。

そんな事を考えるのも、俺自身が日頃、図り事ばかりしていたり、本当は弱虫な事を隠し

てばかりいるから、恐らく人もそうだろうと勝手にみなしているせいなのかもしれないなあ。いずれにせよ、そんなに美談ばかりではなかったような気がする。一筋縄ではいかない種々の心の葛藤があったような気がする。

俺だったら上記いずれにせよ、刑執行時の苦しみ、白眼視への怖れでション便チビるか、発狂していたらうからなあ。俺、実は、正直なところ、パーペキ臆病な弱虫だからなあ…そういう意味での、こころの弱者が本音本心で語り合えない我が国の現状は、とても拙い気がするけどなあ…美談ばかりが横行するのは、却って心の弱者への目に見えない一種の弾圧みたいなもんだしなあ。

カッコ悪いドン臭い話を表に出すな、とかって、あ～ヤダヤダ。🎵弱虫毛虫、挟んで捨てる🎵で捨てられ易い俺からすると、あ～生きづらくてヤダヤダ、ブーッ！！

愚痴が又出た。すんまそん。

気を取り直して、さてもさてさて、第三番目には、「沈黙」を書いた作家は、むしろ作家なら、俺が今言った心象に基づいた人間模様を描いた方がより深層心理に近づけて面白いものができただろうに、敢えて「沈黙」と題して、俺から見ると結構ステロタイプっぽい、神様の沈黙と人間信徒の悲惨な迫害を著したのは、いささか深読みし過ぎの感、是在りだが、実は、一筋縄ではいかないその、どろどろの真相魂胆をはぐらかす為に「何故、神は信徒がこの様なむごい仕打ちを受けているにもかかわらず、沈黙を貫いておられるのか？」という方に、話を、其処に目が行かない様に、やや美談系統に完全にすり替えてしまったんじゃないだろうか？という疑念。だってこの著名作家、その教の信徒なんだから…。一説によると明治時代、我が国、開国時の英雄的存在、坂本龍馬は、実は、殆ど「売国奴」に近いようなことをしていたらしいのだが、ある作家の筆一本で「英雄」になったと同じような可能性だってあり得るし。そして今では全国的にそちらの方の姿が一般化されてもいる訳だし…。

こういったトリックが上下を問わず、日々日常至る所で為されている事が真実だとすると、何も奸計は為政者やリーダー層だけの専売特許じゃなくて、我々一般ピーポーの中にも厳然と存在しているのではないのかなっていう、一種の人間不信、なかんづくその片割れである己への自己不信みたいなもんかもしれないな。だからしょっちゅう自己点検してないと…」

「フムむむむっ…」

「我が国はどちらかという和多神教系列で、案外神様同士フレンドリーな関係なんだけど、一神教って、一神教って言うくらいだから、他に「イヤ実は俺が一番なのよ」って言うのが現れる事を絶対に許さないでしょ？だから「俺こそがその「一」の名にふさわしい」って大げんかになる訳よ。だって一神教が正しいって言っているの二神教になっちゃ困るでしょ？だから二番目が出てきたら、徹底的に叩く訳よ。一神教のご本尊様は己である証明、どんな手を使ってもしちゃう訳よ。例えばさっきの仮説みたいなすっごい手を使ってでも。そもそも、その教えの始祖様と後に布教のために出来た教団とは全く相反する処があるの

よね。「捨てろ、偶像を拝むな」って言うのが始祖様だとすると、教団さんは「御寄進の為にガッポガッポ稼ぎなさい。それを我が教団事務局に寄進なさい。神様絵姿、今なら、キャンペーン期間中だから特別美装版、一枚200万円の処、半額の100万円で大変お買い得なのよ。早くみんな急いで、ね。早いもん勝ちだから…」みたいな違いかな？」

「お前さん、周り中、敵だらけね。アタイみたいに八つ裂きにされちゃうよ。行く先幽霊道しかないかもしれないね…天界に来たら、アタイが身元引受人になってあげっから、その点だけは、心配しなくて、いいかんね」

(English expression ver.)

“Is it too dangerous to open for public?”

“Human is so higher level foxy than until now my holding imagination. Even general, ordinary people have done these tricky traps also. Why, how to inspire such tricky trap, and why, how to have done it in real, you, An? I wish to ask them, the knowhow!! I`d like to say a sarcasm, will get turned to say so. Above foxy knowhow is not only leaders` patent, looks like. Simply, leader class has dirty hands, general, ordinary class has no dirty hands, clean class, all is like this formula can match, is not so like.”

“Ax, ax, again and again suddenly, hey you, darling custom here come out!!”

“Hey you, do you know “Fumie”(the left ward is in Japanese language one)?”

“don`t know such!! Why do me know your former Japanese girl friend name, called “Fumie”?”

Boo!!”

“Non, no!! It`s not former Japanese girl friend name “Fumie (文江)” but other Japanese historic meaning “Fumie”, which is In Edo era closing own country against foreign countries, at the term, Edo gov. Had threaten to get turned to be non controlling domestic area, Edo gov. had pressured Japanese Christian groups because they had the possibility which they no obey gov. rules. The members who had pass it through, had kept own religion, who had called “hidden Christian”, gov. got arrested them and judged, got injured them. At the time as used tool for judgement guilty or not guilty, was named in Japanese language “Fumie (踏み絵)”, which meaning in English is “stepping on the picture of Jesus Christ figure.”

Stepping on was “non guilty”, never could step on it, “guilty”, for separating it, judging it, the tool, as it had been used. The guilty team got punished by whip, fire, heavy stone weighted.”

“Wow, wow, terrible, scared!! Feel heat, feel pain as mine. Because on other planet, at the

time, got beaten down, got punished, got so worn out after it got killed, at the time terrible event just I remembered!! Chill, chill!!”

“From above, in our country, concerning to above event, titled “The silent” novel got released.

The title “The silent” meaning was that as his children, Christian members got injured by non guilty punishment, however, why father kept silent, why no offered helpful hands to them, from this question , it got titled “The silent”.

“Then a, how to link it with top line above of your mentioned one? At least, at now me perfectly no understandable!!”

“With more directly saying what I want to say is that at several points we might had gotten misunderstanding, might be it? and if it`s so, above misunderstanding forcing guys have been so hi technician for thus tricky traps and ability for have done it, I felt terribly scared!!

Because until now, just until now, I had counted thus tendency had been limited within elite groups only, about it no had doubted, but in the fact, within our general. Ordinary people also have behaved, the noticing, from it, got shocked. Because until now, just until now, I had counted it the weak who always 🎵keep behavior honestly, correctly, beautifully🎵is so far from thus dirty, no touch thus tricky trap.”

“!!!!”

“With simply saying, that as our country people`s characteristics, the tendency of “standing on the weak side”, using it usefully for their activity, thus tricky trap is..”

“I have still not well understandable your insisting parts yet, but anyway, going forward, further more, would you, hey you, Darling!?”

“Ok, sure!! Only one God system, abstractive one, the system, which is different from several pan gods system based on animism, prohibits “respective praying for icon”.

If it`s so, for guarding vital lives of hidden Christian members, the leader of the group could direct to members “even if the picture is Jesus Christ figure, it`s simply icon itself, and God says no admire to the icon, so that it`s no problem of stepping on the picture!!”

But the leader no directed to members. Why?

Concerning to this doubt, I`ll tell you at the 2nd doubt corner. Before it, my 1st doubt is below,

If members side had held thus recognition, “even if the picture is Jesus Christ figure, it`s simply icon itself, and God says no admire to the icon, so that it`s no problem of stepping on the picture!! At here rater, stepping on it, going beyond forward further more might be better, I think so, don`t you, leader!?” they could recommend the way taking as a one of choice, also.

Despite of it, no one said thus, despite of understanding will get lost own vital life, if

refusing stepping on the picture, but non stepping on it. Why?

By some chance, the matter which at the time hidden members got the most afraid of, the one was, might be not later punishment from figure stepped respective father but eye beams from hidden arounds, the members, punished members as a betrayer, or escaper, might be, thus the doubt.

If they held doubt, it was not such , could be asking, the air around. If asked, would get doubted asker own as a betrayer, escaper, glancing at with sharp eye beams without voice, were afraid of only.

The tendency of our country people`s characteristics has to take a choice of death rather than to get glanced at with, as a out of circle, eye beams from arounds.

And we have several pressured pinches like below,

or raising hand up from own of Kamikaze pilot candidate for avoiding from called “escaper” or suicide for proving own not guilty or for escaping of called escaper, from arounds with bushing phrases “without own killing before get arrested by enemy, keeping your vital life, shame on you!!” for avoiding from arounds being called so at the time of reaching mother land, rather bater, own killing at battle field, like those cases so many happen in our country. A little bit ago my pre. announcing, 2nd doubt matter is got influent by next phrase “Bushido equals to die, I got found it out” by Musashi Miyamoto, the Samurai Top, from it, the hidden group leader who might be from former Samurai or something like that type guy, rather, aiming for own “meaningful death”, “death itself acceptable”, while noticing hidden group members hidden minds, however, got turned to be useful by reversed hand, he might murmured inside his mind secretly, “probably, members no step on the picture. Probably it`ll invite hard punishment from gov. side officer. But It`s within on schedule in my secret plan.

Because according to my hidden schedule, for our country people`s characteristics “standing on the weak side (limitlessly)” will be screened “very strong emotional” story, it`ll get turned to be the most impact for own planning ad promotion, the possibility there. and, rather, no announcing about the picture merely icon matter, forced them to be a victim or not?

Own himself can get turned to be “Hero in tragedy” imagining, even if own get to turned to be killed and get them as a victim, “it`s no option matter to expand our plan. It`s worthy as same as to spend vital lives as victims.” Thus agreement to own forcing case, even if at a moment thus black one happening inside leader`s mind, sooner or later it might be covering all his brain functions under unconsciousness. Thus happened or not? it`s the 2nd doubt, is. In any case human miscounting , the tendency so many times happening. The tendency is “ looks like epoch making big event count it true, important” and on opposite looks like tiny

trigger matter, count it false, no meaning.” But in actual, the later tiny one is true cause, the case so many. Human no noticing it, bated, rushing into wrong direction, the case so many, and at the last, slipping down!!

Human has acceptable ability for around circumstance, from it, even at the emergency time, during under peaceful term never can believe in, by unbelievable perspective in front of them happening unbelievable accident, human gets turned to be reasonable one, the tendency also so many cases happen.

But even if until thus not so black, dark, the leader from own side bringing “prohibiting icon respecting” matter back, and permitting “may stepping on the picture”, in the case of saying, vasa versa, from members, bashed with shouting “escaper!!”, “betrayer!!”, the possibility there, the leader might be afraid of,

Cause of thus perspective taking, it`s from, my own might be a type who own imagining, others the same imagining, so that they think as the same as my thinking contents, from one way side, the tendency I have, this behavior copying to them, merely it only might be.

Anyway, it was not so organized one, not so smooth one, I guess. It might be more jammed, confused, unmatched ones battling scene so many were, might be, I guess.

I`m “will weak” the weak guy. If above situation around me, I`ll have lost my mind by getting shocked. In this meaning, “weak will” “weak mind” holder, the weak, openly talking about true voice contents never can have done it, thus circumstance around has stayed in our current country society is very bad, Organized one only is allowed, non organized, non stylish one is never allowed. It`s sp tightly fastened!! I feel!! To live relax, open for the weak is very far target. it` very similar with Under Edo era living hidden Christian. Oh, difficult to live, difficult to live!!

Ax, sorry, too much complaining!!

And 3rd doubt is that the author who wrote the novel of the title “The silent” which was concerning to above event, if he was the author, rather, writing about above my tentative non organized, non smooth members or leader mind inside is more interesting one could been had done it, I guess, however, he wrote in actual more organized one, for me little bit stereo type one, it means god`s silence vs. people`s pains, very stereo type theme for me, I suppose. Why?

At the time of noticing it, I got found it out, the 3rd doubt.

It might be replaced from jammed, non organized, unmatched competition inside to organized, authorized theme, or not, I doubted. Because this author was one of their member.

According to one of some reports, “Ryoma Sakamoto” who was called “hero” for Edo gov shifted to Meiji gov. but in actual big “betrayer” for the people, however, by one of author

writing over, he got turned to be a great hero and current now almost of all Japanese people believed in he was here. Thus the possibility anywhere, anytime happen there here. Thus tricky play is not leaders group limited one but our general, ordinary within inside also there one. concerning to it, we always check own, have to have done it, I suppose.²

“Hmmm, hmmm…”

“In our country, rather, several gods system main, and friendly to each other. But one God system is one God, so that never permitting other any ones to each other. From it, big fighting so many there. to get a win, superior against others is always “must”. Then a, above issue always happen to prove own God system is Only one.

First, between starter, started one and for keeping it supporter group is quite different, or perfectly opposite stance has been staying.

Starter saying “abandon, stop praying icon”, for keeping it group saying, “for donation to us, more earning the money and much more donate it to us. in this time extra bargain sale now!! special version icon, but half price sale!! Hey you, buy it, buy it up!!” like this difference.”

“Your around all enemy. You will be killed like me. Be careful!! Pay attention around!! If you come to our heaven, I`ll accept you!! At least, at this point, no need concern, hey you, Darling!!”

2025/1/11

11th Jan. 25

(Japanese expression ver.)

「神様だって、ご迷惑でしょうに、ヨ!!!」

(English expression ver.)

“Even gods side, might feel troublesome!!”



(Japanese expression ver.)

「神様だって、ご迷惑でしょうに、ヨ!!!」

「何でもかんでも神様のせい、とか、♪天の神様の言う通り♪で、神様次第じゃ、神様だ
ってご迷惑だろうによ」

「よくもまあ、そう、次から次へと…」

「思いついたが吉日。何でも言ったもん勝ちでしょうに、ヨ」

「なんでも、先手必勝、手が早きやいいってもんじゃないのよ、お前さん」

「お姉ちゃんの乳揉み、おケツのおさすりは早いに越したことはない、俺は思うんだがな
…♪いやよ、いやよは、イイの内♪の気が変わる前に速攻、タッチ、もみもみ、ズリズリ、
パイ揉み (boobs, massaging)、ケツタッチン(butts, touching)、よ」

「其れも又、ワンパターンすぎるわよ。ちっとは替えたら、口上？」

「ピンポン!!! 確かに、謂えてる。神様だって、あんまりワンパターンだと飽きるよな、
いくらなんでも、そりゃそうだろうよ。毎回、金に、女に、立身出世、合格祈願に恋愛成
就のオネガイ事ばっかじゃ。

よく長々とお祈りしてる奴いるけど、本人は一生懸命さをアピールしてる心算なんだろう
けど、どうせ次も中身は一緒だってわかっている神様にしてみれば、自分も後に並んでい
る人も迷惑だから、早いとこ切り上げて欲しいのが本音なのよね、神様の」

「其れってお前さんのブツサブツサ、だらだらと果てしなく続く、長祈願之事、自戒
を込めて、反省がてら、言ってるの？」

「ん？俺が何時も長々と遣っているのは、金が🎵苦しい時の神頼み🎵だけだぞ。何も神頼みというか金頼み以外に、自戒なんぞ前回は、今回もしておらんし、次回もする予定はないわい！！」

「"神頼み"と"金頼み"s、それに、"自戒"と"次回"を掛けた訳ね」

「🎵みかん、きんかん、酒の爛。うちの嫁御（よめご）は、働かん🎵みたいなもんよ」

「なんで、嫁御がはたらかなきゃなんないのよ。あらま、ムスっ、だわよ、お前さん」

「それよ、それぞれ、そのアダム、スミスがいけないのよ！！」

「ハイ？なんの話？それに、誰それ？」

「昔、英国で「国富論」を著した経済学者よ。王朝の勢力拡大じゃなくて、市民社会全体の育成が国の富を決定づけるって言う、当時としては画期的な経済論だったんだけど、最後の最後の詰め処で、「じゃなんで、市民全体何て言うとりとめもない烏合の衆団が一方方向に向かって進めるんですか？」という問いに対して、突然、エイヤの、非科学的丸投げをやってのけた吾人なのよ」

「非科学的丸なげって？」

「学者としてあろう事か、神様に丸投げしちゃったのよ。「神の見えざる手が導き給う」とか、超無責任なこと言って、全責任神様に押し付けちゃった訳。

そりゃ神様だって、そうまで、突然、話振られたら、「え、なにになに？何で突然このワシが、其処に出てくる訳？」って驚くよね。それこそ、🎵鳩が豆鉄砲くらったみたいに🎵きょとんとされたんだと思うよ。かといって「全能の神」と言われている以上、無下に「できませんよ、そんなの」とも言えないし、他に振りようもないから、それはそれは、察するに余りあるほど、困惑されたんじゃないの？そういうのってご迷惑以外の何物でもなかったんじゃないのかな？

あと、あそこの神様、御利益（ごりやく）があるとかないとか、人間は勝手に神様の品定めしてるけど、神様に行くのはお礼を言いに行くんであって、お願いをしに行くんじゃないような気もするんだけどね。

それに、原理原則は、半分はひとの努力、半分は天与の時期到来、の半々でしょ？、それなのに、少なくとも自助努力が出来る人間負担分の方に関しては、必死に頑張っただけ最後の最後、救いを求めて、寄りかかって来るなら未だしも、はじめっから全体重を任せて来て、何とかせえ、じゃ、いくらなんでも虫がよすぎるでしょうよ。

なんか自助努力するの嫌さに全部神様に丸投げするのって如何なもんなんでしょかねえ？
だけど、この「神の見えざる手」の一言が、以降独り歩きして、人類は現在に至るまでスミスさんの労作部分の本論は誰も覚えていないけど「都合のいい其処の言葉だけ覚えてて」遣りたい放題、し放題、なわけよ。「だって後逸した玉は、全部神様が拾ってくれるんだから、安心よね。いくら身勝手しても、最後の損得勘定は神様がつじつまを合わせてくださるわけだし」って、神様に名を借りて、遣りたい放題、し放題、しまくりよね、みたいなことになっちゃてる様な気がするんだけど…当然面どっちい、自助努力は一切なし。超

絶楽観論、吠えまくるだけ。

神様だって忙しいんだ。人間個々人に目を向けてる暇はないのよ。だから自分で頑張るしかないんじゃないの？誰も助けてくれないよ、多分。誰かが何処かでひそかに自分の事見ててくれたり、目を掛けていてくれるなんて事もないんだと思うよ、でももし、上手く行ったらお礼だけ神様に言いに行けばいいような気も知るんだけど、ね。もし神様のこと、ご尊敬もうしあげておりますって日頃からいっているなら、忙しすぎる神様を、少しは、手助けして差し上げたらどうなの？って。自分の事ぐらい自分でしますから、気にしなくていいですよって言うくらい、少しは気を効かせてあげたらどうなのって、え？

何で神様や他の大変な人の負担軽減してあげないのよ？見てて、腹立たん？ポホロ？あん？

元々神様は「たまたま隣にいる人でも、苦しい思いをしている人だったら、手を差し伸べてあげなさい」って言ってたんじゃないの？アンタら本当に神様をご尊敬もうしあげてんなら、なんでそうしないのよ？と、毒づきたくもなるだろうがよ、幾ら俺が、ドスケベ街道まっしぐらの、ドスケベ道では、それなりに有名だが、その他の分野では、全くの無名、名もなき爺の俺でも、フツーそう思うだろうがよ、あん？」

「お前さん処の星の「人類」って、神様に対してよりも、結局仲間の人類に対して🎵やらずぶったくり🎵しまくっているような結果になっちゃってんのかもね。

神様ってどっちかって言うと人類に対して🎵やらず、ぶったくらず🎵で、「何も自助努力はやらず」、美味しい処だけ「ぶったくり」まくってんの、「人類」の方なのかもね」

(English expression ver.)

“Even gods side, might feel troublesome!!”

“It`s “All is because of gods.” “all depend on gods”, human takes thus behavior, it`ll cause gods also feel troublesome.”

“Wow, you so many, next , next, next, new strange inspirations can float up out!?, hey you, Darling, you have too much leisure time? An?”

“🎵Inspired timing is the best timing🎵🎵On anything, first speaker is winner🎵is!!”

“hey you, Darling, 🎵anytime fast touching is can get a win,🎵 is not fixed theory. An?”

“To gals, massaging boobs, touching butts, it`s as soon as possible is better choice, I suppose.

Within 🎵”Non, no, stop, stop!!” means “ok, ok, come on, come on” the same, in sometimes 🎵, had done it is, for a getting a win, core point!! I think so.”

“Above your joke is also one patter copied one. I`m tired out, and tired of. Little bit changing is better, I`ll recommend you!!”

“🎵 Ping, Pong!! 🎵 It`s hit the chime button!! Thanks for your good recommendation!! Even if it`s a god, so every time one pattern request gets repeated that even he will get tire of, or money or woman or success or exam pass requests only.”

So many times we can see long time praying person, who might count own appealing as a eager prayer to god, vasa versa god side, next turn guy side both also count the person very troublesome guy because the one is almost of all stereo type one, they well have known it, so that ASAP praying get over, their true voice is, just it right!!”

“It`s copied one on you, so long time complaining, murmuring, shouting, screaming, series chain? Chain smoker, like a chimney you!?”

“Sure that I`m chain smoker, and also “Gold, money chain” wishing prayer, sure that!!”

“”Ahan, “Chain” the word, linking!!”

“🎵 Chim, Chimney, Chim, Chimney, Chim, Chem, Cheney!! 🎵 singer Julie Andrews singing!!

Ax, just remembered!! From it!! Adam Smith, the name!! He is just cause of later badness!!”

“What? What`s the story? And who is Adam Smith?”

“He is in the past time, in England, a great scholar of economy who wrote s book of title “the wealth of nations”. His theory of economy which mentioned that nation`s worth was fixed not by expansion of royal room size but by power of diversity on citizen society classes, this theory was at the time so, so, epoch making one, however, at the last of last on this theory, suddenly he mentioned as the result, whole non logical one he put it on for the question which he was asked that diversity several different power can be controlled to one united direction?, for the asked question.“

“Non logical whole one suddenly? What he put on?”

“As a scholar, never take such behavior, however, he all depended on God” with writing that will be guided by “God`s unseen hand” like that.

Even if god, like this above, in the case of that suddenly as a responsibility main holder, target of responsibility is swung to own, will get falling into panic, and will shout “It`s me? It`s my turn? I`m main cast for resolving it? An? Why suddenly!!!!????” But always called own “Almighty God”, from it, never can reject it, to no one pass sending it out, only the way is keeping silent. Never can take against behavior. We can easily understand his confusion. Thus, is it called “your tiny counting, the request, my side counting it, as a huge heavy duty” An?”

And in Japan, we Japanese people generally say “at that shrine give us lucky or no lucky anymore, like this selfishly judging gods, but according to my perspective, going to shrine is only for thanks giving, not for request requiring place, I think so.

Addon more, as a principal principle, to reach to final target , it`s half by own efforts, half by

waiting for heaven giving timing, if it's counted common, at least half by own human can effort, the area, until at the last of last had hung in there, can be allowed, from the first without efforts, all depending on only, the persons, perfectly we have no will for supporting them.

Why some even though disliking to effort, bated, easily all depending on gods, the tendency so widely expanded out here and there or not? recently?

But by this "God's unseen hand" automatically guiding to good result, the illusion stand alone walking, until now has continued, looks like.

And we say unconsciously in our each minds "Let's do as we like, let's do anything freely!! Because God standing by as a final back catcher, any wrong ball no pass out backward. No need concern, let's do as we like freely!!", almost of all us, suppose like this unconsciously!! Sure that troublesome own efforts no touch, no have done it. thus troublesome ones, all depending on God unseen hand!! Own convenience first of all!!

Even if gods also so busy!! Gods have no time to glance at each human individually, personally.

So that the left one is own efforts only, An? No one help us. No one watch at us secretly from somewhere, no one follow us up, probably!! But if getting in success, the case, it'll better to visit shrine for praying with thanks words, I suppose. If usually to gods we always say "we respect you, god Sir!!". Why no help, overworking, too much busy god? An? "own matter by own will have done it, so that no need concern to us, god Sir!!" thus why no say to god? An?

Why they reduce gods' and under hard condition standing others' heavy duty? Watching at it besides, no get angry, Poholo, An?

Originally god say "help and support neighbors who even if stay as it happen. If the ones standing under hard condition, help and support them!! Or not, An?"

Even if I'm pervert loving, old scrapped guy, in common, usually saying so, or not, An?"

"On your planet human beings is, as a result not for god, but for colleague human beings ,
♪no giving (=no have done it), taking only♪, the same result might be!?"

Gods behavior might be ♪no giving, no taking♪ style keeping, vasa versa, human beings ♪
No have done own efforts, taking tasty harvest from others only♪ looks like, screened for my Alien eyes might be, Alas!!"

2025/1/12

12th Jan. 25

(Japanese expression ver.)

「♪長過ぎちゃって、困ま～るの～♪」

(正解は、長短色々取り混ぜて?)

(English expression ver.)

“♪Too long causes troublesome♪”

(correct answer is long, short mix type,

case by case or not?)



(Japanese expression ver.)

「♪長過ぎちゃって、困ま～るの～♪」(正解は、長短色々取り混ぜて?)

「こりゃ、如何にもインテリの仕事ぶりだな。こんなのズラズラ書いたって普通の人は読みもせんだろう。其れじゃ何の役にも立たん。もっと短く、コンパクトにインパクトのある表現に、最低でもしないと、チラ見、ポイ捨て、見え見えだし」

「お正月って、めっちゃ、暇なお前さん。訳の分かんない事、朝っばらから連日宣うのは、え?アタイはもう慣れたけど…でもやっぱ、ブツクサ、ブツブツ…だわよ。

宇宙人のオバケとはいえ、女は大変なのよ。お前さんビンボーで、もう 10 年くらいプライベートの服、買ってないで、その昔のボロボロになった服、引っ張り出して着てるから、その修繕のお裁縫が大変なのよ。わかってんの?あん?」

「俺はお裁縫以外はこなせるんだが、お裁縫だけは、針がワシの柔肌に刺さることを想像するだけでビビっちゃってダメなのよね」

「お前さん、その手の皮、グローブみたいに厚手だから大丈夫なんじゃないの？」

「誰の手がグローブじゃ？個人の見解の相違をよそに、実際の手の皮の厚みは左程問題ではあるまい。というのもその証左として、お姉ちゃんのお尻をナデナデした時に、肌の張りを厚い手の皮だとお前が一方的に決め付けたわが手を通してちゃんと感じられるし…。厚みの問題とは無関係らしく、意外と敏感肌なのよ、ワダス」

「●×▲◆＃\$%&@:~:誰もそんな事訊いてない！！」

「パイオツのハリはもっとよくわかるし…」

「重ねてそれも、訊いてない、プンスカ、プンブン」

「それよそれ、そう言う風な事なのよ。詰まり「怒り」の表現を表すのに、一々長々、ズラズラ書くより「ジグジョ〜」とか「ザケンじゃねえ、バホバホ、ブーブー」とか「プンスカ、プンブン」て書いた方がよっぽど分かり易いでしょ？怒りのレベルとか質とか。

そう言う観点から言うと、お正月の紙面を飾っていた記事は、内容は如何にももっともなんだろうけど、果たしてそんな長い文章をみんなが覚えていたり、瞬時に第一番目に思い出したり、口にできるかって言うと、出来っこないものばかりなのよね。

その点為政者や大企業は、中身なんかなくても覚え易いフレーズ、ばんばか作り出して、人々を煙に巻いて、あらぬ方向に連れ去っちゃうことに長けているから、みんな騙されちゃう訳よ。

で、連中のテク・ネタを紐解けば、単にそらんじやすいとか覚え易いとか、口にしやすいからってだけなのよね。

だとしたら、中身のあるいいものを簡単にそらんじられたり口ずさめる工夫をナンデしないのかね？

冒頭で俺が毒づいたインテリさん方は「言っている事さえ正しければ、幾ら長くても仕方がない。それは理解しない方が悪い。理解の努力を怠ったアンタ方の怠慢だ」という上から目線の論法になるから、一般ピーポーの我々は、よく見聞きもせずにポイ捨てしちゃうのよね、

何でそんな簡単な事にアホインテリさんたちは気づかないのかねえ？

其れは確かに自分らの努力に対して聞き手側が丸で努力していないと言え、そのとおりなんだが、言い分を受け入れてもらう、いや、単に聞いてもらうだけでも、その位の無駄足を途方もない回数、♪お百度参り♪的に踏まないと、ダメなんだよね、難攻不落と言われて世に久しい取引相手、落とす際のビジネス慣習としては、ね。

俺のオヤジがよく言っていたが「行くなら一番難しい道を選んでいけ。一番簡単な道を選びやすいが、其れじゃ実力が付かん。そんな安易街道で付くのは、せいぜい「是っきりボタン」押し過ぎの指ダコ位なものだ。

真水の残業時間少ない奴（残業代稼ぎ目的の残業時間を除いた、本当の残業時間）で、成

功した奴なんて皆無でもあるんだぜ。

それと、大損をしない限り、何が大切かもわからん。だから大損したくらいでピーピー騒ぐな。気付きのトリガを与えて貰ったくらいに思っとけ」、って。

その慣習やオヤジの言からすると、損得勘定上は、損以外の何物でもないんだが、そこはそれ、♪損して得取れ♪、♪初期投資はかきむのが一般的♪が如くに弁え、投資分即座に元を採ろうとして勇み足をしないこったよ。

手っ取り早く、インテリ側の言いたい事、思いのたけ、抜けなく、言いおおせた、で押し付けまくったりすると、♪急いては事を仕損じる♪位が関の山なのよ。祈願成就できるかどうかわからなくても、此処はじっくり気長に♪お役度参り♪するしか手はないのよね。だから、其れよりはるか以前の段階でしかない、己が論旨の正邪や言い忘れ、言い逃しがないかだけに拘ってはいはダメなのよ。

むしろ大切なのは、聴く側が居て、その聴く側が、訊いた言葉の中から、何を「連想するか」迄、読んだうえで論旨を展開しないと、結局相手には何も伝わらんというシンプルな事実だ。

そもそも我々庶民は忙しくて、腹の足しにならんご高説、足止めて迄聴いてる暇ないのよね。

ヨッポド、ん？おや？なんか面白そ〜、とで思わない限り、足なんか止めっこないんだから、ねえ、暇じゃねえんだからよ、俺等ペーペーは。そう思わん？」

「ん？お前さん暇だらけじゃんよお。

足一晩止めても、一週間止めても、何の問題もないジャンよお。

ペーペーだろうがお偉いさんだろうが、休みでも何でも、長すぎるのはダメなの、メっ！！」

「俳句だと短すぎて説明不足で誤解を招き易いから、せいぜい 5,7,5,7,7 の 31 文字（みそひともじ）の和歌くらいの長さじゃないと、きちんとした内容共々、正確におぼえてもらえないような気がするんだけどねえ」

「お前さん、ナニは長いに越した事はないんだけどねえ。宇宙人幽霊女にとっても、ねえ」

「お！！じゃ久しぶりに、イッチョ、長めのプロレスでもすっか？二階で！！」

「ちょっと日にちが経ちすぎてるけど、其れじゃ一発、今年の「姫はじめ」と参ろうかの。じゃ、ついてきな、二階に。シコタマもんだるケンね！！」

「どっちかっていうと、そう言う事の「長め」はいいのよね。そういうことなら…ドヒドヒ」

(English expression ver.)

“♪Too long causes troublesome♪” (correct answer is long, short mix type, case by case or not?)

“These are just typical jobs have been done by knowledge class elites. Thus too long sentences article written, however, no one, general, ordinary no people read them in any cases!!

Thus long article comparison with as for their efforts is quite no useful. More short, more compact, and much more impact type, unless to get them turned to be, minimum, anyone without noticing will pass their serious important messages through.”

“Hey you, Darling, do you have too much leisure time at the beginning of the year term?

You everyday series tell my no understandable story, An? complaining, complaining, in Japanese the same “Butsu-kusa, Butsu-kusa”...

Even if I`m Alien ghost, woman`s hand job is very hard. Even though you are so money poor guy, during 10 past years term no buying any private clothes and has picked very scrapped old fashioned ones up, so that sawing job for repairing your scrapped clothes is very troublesome hard, you know, An?”

“I can have done all housekeeping jobs except sawing, but only sawing job never can do because merely only imagining needle injecting my silky soft skin, will feel terrible pain on imagination.”

“Your hand skin looks like a baseball grab, the same level thick, might be no problem, I suppose.”

“Whose hands skin looks like a baseball grab, the thick, An? putting it aside, the unmatched difference between each side personal individual perspectives, you pointed thick, my like a baseball grab hands skin is very useful because at the time of touching gals butts, can feel butts softness or tension level well. My skin is, out of pre. imagination, very sensitive one!! mine.!!”

“●×▲◆# \$ % & @;::;no one asked about such it!!”

“Boobs tension, softness, much more can feel, my sensor inside my hands!!”

“No one ask it, also no asking!! Boo, boo!! In Japanese “Pu-nsuka, Pu-n, Pu-n!!”

“Sure, sure, that`s it, that`s it, just it right!! The left pointed one means that at the time of expression about “anger” level or kinds of, sords of, it`s more easily understandable better, the short, using onomatopoeia, like a “Pu-nsuka, Pu-n, Pu-n” expression using dynamic rather than long, polite sentences series.

From this perspective can I say, at the beginning of this year, on the news paper articles sentences are all too much long, too much complicated, no simple for general people like me, memorizing, without paper looking at, for freely singing.

At the same point comparison with gov. huge companies, which are so high skill holders on short phrase, easily memorizing, rhythmical, up tempo slogan making even if their contents

are empty, vacant, well making way knowhow so much holding. So that we all easily are faked.

Then a, the source of their tech. trying to find it out, easily can find it out. it`s merely easily can be memorizing, easily understandable phrase making with rhythmical, up, tempo ones only. No need contents, only rhythmical, up tempo only, ok!!”

If it`s so, contents full harvest full the one, with gotten short phrase and attaching rhythmical and up tempo one, even making only, the just!! Why thus easily point no noticing and no trying to make, the effort no have done it, why? It`s the stupid!!

Knowledge class elites who I bashed at the time of my speaking started point, might against to me, “in the case of speaking contents, is right, even the explanation gets turned to be so long that it`s no option. Bad side is no understandable our explanation side. This effort lacking side, your side dullness only, the cause!!” they against, therefore general people us kick them out, no touch, will leave away, maybe, probably. Anyway, elites no noticing thus primitive point, why? I can`t believe it, on opposite!?

Sure that on elite side efforts vs. on general people side no efforts is correct. But

For being accepted insists by general people, non, before it, merely being listened to by them, so many times trying to visit nearby their ears, eyes, trying to catch them up. It`s the typical business custom for very difficult clients of catching up.

My lost father always told to me, “if you take as a choice, going for, the most difficult road, take!! The most easy going way, almost of all getting likely to, but it`s no useful for stocking actual power. Rather, “only one pushing button” custom merely only stocked.

Truly counted extra hours few guys never get in success, no successor in there.

And unless into huge loss situation falling, never can get understanding of what`s the important core!! Never screaming as a level of money poor!! Count it as a level of being given trigger!!

Above according to the custom matter and according to my lost dad telling matter, that big loss is common, at the time of first, initial cost hi also is normal standard can be counted, so that never rush into loss amount recovering to before money stock level!!

In the case of instantly, one way pushing, only by checking own side insisting is correct? no lacks? no mistakes? thus own side matter only checking is out of target inviting behavior, rather!! More have to pay attention matter is listener side is there and to have to imagine how to they series imagine from elite speaking contents, and from it, speaking construct build up is more important, the fact noticing first.

Firstly we general people is so busy for getting meal`s money, that no time to stop for no useful to own stomach full, the speech listening to. Unless speech contents is so interesting one, the speaker offering!! We are so busy!!”

“N? You perfectly no busy!! An?”

During 1 night, during 1 week long, if you stop your walking, will invite no problem to own and to all over the world`s function running!?

For anyone, in anytime, in any cases, too long is never allowed. Stop it!!”

Japanese fixed formal poem “Haiku”(5,7,5 total 17 Japanese letters counting base) is too short for full enough expression, at least “Waka”(5,7,5,7,7 total 31 Japanese letters counting base) base required for enough.) size scale minimum “must” size for general people, correctly memorizing, freely using size “Waka” might be maximum size, as the sentences long.”

“hey you, Darling, co●k size is longer, is better, even for Alien ghost woman me, also!!”

“Oh!! So long time no fu●ck!! Then a, little bit long term, “Battle Royal” wrestling on the bed upstairs starting? Agree, ok? Ok!! let`s go!!”

“Little bit too much delayed as a new year fu●k starting day. But it`s no problem. For me!! Hey you, Darling, come on upstairs, let`s go, follow with me!! I`ll from several angles set fighting pose can do!! Long, short, any pose, Ok!! Hey you, come on, tackle me!!”

“ as a selecting choice, thus “longer” is very welcome, very easily acceptable “longer” I can count it!!…Chuppa chaps!!”

(以下、2025年お正月に載った新聞記事をご参考として掲載いたします。

尚余りに長文であるために英訳は行いませんので、悪しからず)

(Below in Japan in beginning of 2025 articles on the news paper. But sentences too, too long, so that I never can translate all into English. Very sorry, but too, too, long, I don`t have such hi level ability now!! Please translate below by your own if you have interested in below article contents, sorry and thank you so much!!)

科学者組織が問う「成長」、経済と環境の二兎を追えるか

編集委員 久保田啓介

025年1月8日 5:00 [会員限定記事]



社会変革の必要性を説く報告書を承認した IPBES 総会 (2024年12月、ナミビア)

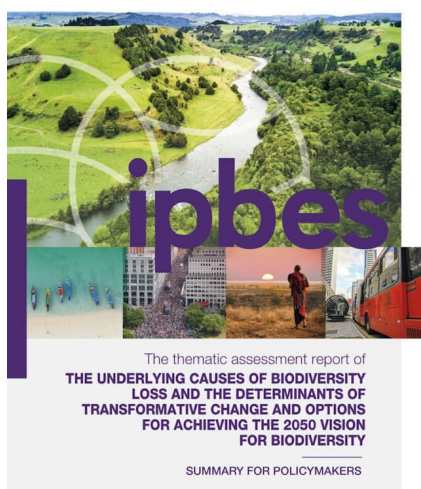
=IPBES 提供

これまでのように経済成長を追求するのでは気候変動や生物多様性の危機を克服できず、社会変革が避けて通れない——。地球環境にかかわる国際的な科学者組織が「成長」のあり方を根底から問い直す報告書を公表した。環境破壊の元凶は社会の格差や不平等にあるとも訴え、経済学者らが論じる「脱成長」と共鳴する。国際社会がめざす「経済と環境の両立」という路線の限界も示唆している。

「社会変革は不可避」

「自然の損失を食い止め、公正で持続可能な世界を実現するには社会変革が避けて通れない。現在支配的な経済・金融のパラダイム（基本概念や思想）を変革し、個人の利益よりも自然や社会的公平を優先しなければならない」

約 150 の国・地域が参加する政府間組織「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES=イブベス）」が 2024 年 12 月に公表した「社会変革評価報告書」は、こう訴えた。IPBES は一般にはなじみの薄い組織だが、地球環境にかかわる自然科学、社会科学の有力研究者が集まる。温暖化対策で強い影響力をもつ「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の生物多様性版といわれる。



社会変革評価報告書の主張は脱成長論と共鳴する=IPBES 提供

社会変革評価報告書は世界 42 カ国・地域から約 100 人の研究者が執筆に参加し、3 年に及ぶ文献調査や事例研究により編まれた。「自然の損失は後戻りできないティッピングポイント（転換点）に近づいている」とし、政治や制度、社会規範、個人のものの見方まで「さまざまな主体による早急な変革」の必要性を訴えた。

なかでも注目されるのが、いまの経済・金融の仕組みへの懐疑をはっきりと示したことだ。大量生産・消費・廃棄から抜け出せない経済システムやグローバルなサプライチェーン（供給網）の弊害を鋭く批判したうえで、経済の仕組み自体を改め、社会、文化、環境面

の豊かさも加えて「生活の質の向上」を目指すべきだとした。

IPBES「社会変革評価報告書」の要旨
・生物多様性の損失や自然の減少による危機が連鎖しており、公正で持続可能な世界へ社会変革が必要かつ急務
・不作為や遅れが10年続くと、すぐに対応するのに比べコストは2倍に
・生物多様性損失の根本原因は、人と自然の乖離（かいり）、権力と富の集中、短期・個人的・物質的利益の優先
・社会変革の原則は、公平と正義、多元性・包摂性、人間と自然の互恵的な関係、適応的な学習と行動――の4つ
・先住民や地域の知識は、社会変革の戦略や行動に役立つ
・ものの見方、社会構造、慣習など大小のスケールで変革が進んでおり、社会変革は可能
・社会変革には①多様性のある場所の保全②環境負荷が大きいセクターの変革③経済システムの転換④ガバナンスの改革⑤価値観や意識の変革――の5つの戦略がある

「消費と生産の縮小（ダウンスケーリング）」「足るを知る文化」「代替する経済モデルの追求」といった表現も登場し、国際組織の報告としてはかなり尖（とが）った内容だ。

「脱成長」論と共鳴

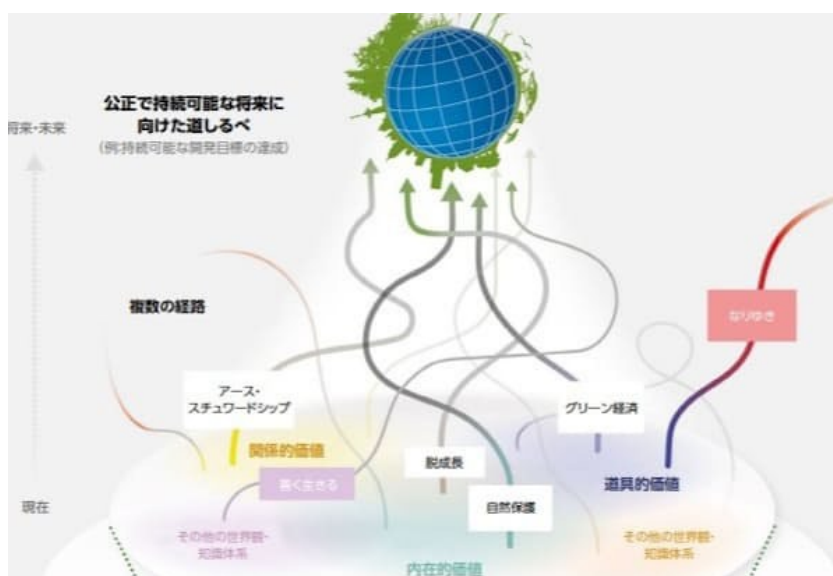
公表された報告書要旨（政策決定者向け要約）に「脱成長（degrowth）」や「ポスト成長（post-growth）」という言葉こそ見当たらないが、中身は経済学者らが唱える脱成長論に通じる。実際、作成にかかわった研究者は「参加国の政府が関与する報告書であるため物議を醸す用語は慎重に避けたが、議論の核心に脱成長が含まれている」と明かす。

ここで言う脱成長とは、成長を頭から否定したりマイナス成長を主張したりするのではない。フランスの経済学・哲学者セルジュ・ラトゥーシュ氏が指摘するように、経済一辺倒の成長とは決別し、「節度ある豊かさ」を目標に掲げる。とくに産業革命以降の環境悪化をもたらした先進国（高所得国）に「資源やエネルギーの投入量（スループット）の抑制」を求め、「物的な富の公平な分配」や「世代間・世代内の公平」を求めるのが特徴だ。

1992年の国連環境開発会議（地球サミット）を節目に、国際社会の目標になった「持続可能な開発」は経済成長自体を否定していない。だが、脱成長は経済一辺倒の成長主義を脱することを主張している点で、明らかに一線を画している。

科学者組織が「成長」に異議を申し立てるのは、これが初めてではない。IPBES自身も22年に公表した「自然の多様な価値と評価手法に関する報告書（価値評価報告書）」で、degrowthという語を用いた。

持続可能な地球の実現に向け、さまざまな主体が地球環境に責任を負う「アース・スチュワードシップ」や経済と環境との両立をめざす「グリーン経済」などとともに、脱成長が「道しるべ」になると提言した。あくまでも「選択肢のひとつ」という位置づけだが、議論がある「脱成長」という語をそのまま記載したことに多くの専門家が驚いた。



IPBES は 22 年の報告書でも選択肢のひとつとして「脱成長」を明示した（「価値評価報告書」から）

先輩格にあたる IPCC も、22～23 年に公表した気候変動に関する第 6 次評価報告書の 2 つの作業部会が「脱成長」に言及した。気候変動の回避には温暖化ガスの排出削減だけでは不十分で、企業や市民など需要側の対策が不可避であるとし、脱成長も念頭に「エネルギーや資源の消費の抜本的な削減」を求めた。国際的な枠組みであるパリ協定が「温暖化防止は経済成長を損なわない」との立場を取るのに対し、「脱成長を支持する人から疑義が生じている」とも指摘した。

有力科学誌である英ネイチャーも脱成長論者の論文をたびたび掲載している。22 年 12 月に掲載された英ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) 客員フェローのジェイソン・ヒッケル氏らの論文は、脱成長の具体的な政策課題として「環境に有害で必要性の低い産業の縮小」や「公共サービスの拡充」「環境分野における雇用の保障」「労働時間の短縮」などを掲げた。

揺らぐグリーン成長

科学者たちが脱成長を真剣に論じている背景には、地球環境の危機が抜き差しならない状況であることに加え、経済と環境の二兎（にと）を追うグリーン成長やグリーン経済の限界が見え始めた点を無視できない。

グリーン成長は再生可能エネルギーや電気自動車の普及支援策など、大規模な財政出動や公共投資をテコに環境保全と経済成長の両立をめざす考え方だ。通常、経済が成長すると環境負荷も増大するという比例関係にあるが、イノベーションによってこの関係が薄れ、いわゆる「デカップリング（切り離し）」が起きる。デカップリングはグリーン成長の理論的な柱とされ、先進国の一部で実現していることを示す統計もある。



IPBES 総会では科学者や行政官らが環境保全のあり方を議論した（2024 年 12 月、ナミビア）=IPBES 提供

だが日本でも斎藤幸平・東京大学准教授が著書『人新世の「資本論」』で指摘したように、グリーン成長は「楽観論にすぎない」とみる専門家が増えている。先進国でデカップリングが実現しているのは「エネルギー効率の低い産業が途上国に移転し、環境負荷を途上国に押しつけているためだ」との批判や「個々の機器で省エネが実現しても、節約された分が別のモノやサービスに回るだけで、エネルギー消費全体の伸びを抑制できない」との主張だ。

GDP を超えた指標を

今回の IPBES 報告書もグリーン成長を超える変革の必要性を訴え、「農林業や鉱業など環境負荷が大きなセクターの改革」「経済・金融システムの転換」などの 5 つの戦略が重要とした。

なかでも詳しく述べているのが、国内総生産（GDP）を「成長の物差し」として使う代わりに、環境や人々の健康なども加味した「ビヨンド（超）GDP」指標を定着させることだ。各国政府が新たな指標に基づいて社会の目標を決め、政策運営するようになれば、豊かさについて個人の捉え方も当然変化するからだ。

具体例として、英国のシンクタンクが公表している「地球幸福度指数（Happy Planet Index）」や、南アジアの小国ブータンが採用したことで知られる「国民総幸福量（GNH=Gross National Happiness）」などを示した。これらの指標の多くは福祉や教育の充実度、犯罪の少なさなどを含め、「豊かさ」を多面的に評価している。年々の価値の変動量（フロー）より、豊かさの蓄積（ストック）を重視するのも特徴だ。

「豊かさ」を考慮した「ビヨンドGDP」指標の例	
グリーンGDP	国内総生産（GDP）に天然資源の減少や環境悪化のコストを加味。内閣府の試算では日本の成長率は年1.04%（1995～2020年の平均）
Genuine Progress Indicator（真の進歩指標）	米NGOが開発。消費データを基に家事やボランティア活動の価値を加味、犯罪発生などを差し引く
Genuine Savings	世界銀行が開発。国民の総貯蓄に人的資本投資などを加味し、天然資源の減少などを控除
Gross Ecosystem Products（GEP：生態系総生産）	生態系サービスが生み出す価値を計算。グリーンGDPとGEPを合わせて経済生態GDP（GEEP）の概念も
Happy Planet Index（HPI：地球幸福度指数）	英シンクタンクが公表。平均寿命、健康指標、健康格差、環境負荷などを基準に計算
Inclusive Wealth（包括的豊かさ）	国連大学、国連環境計画が提案。人工資本、自然資本、人的資本の合計をストック（蓄積）で示す
Gross National Happiness（GNH：国民総幸福量）	国民の健康、教育、文化など精神面の豊かさを定量化。ブータン政府が政策目標に定め、聞き取り調査で数値を公表

（出所）社会変革評価報告書が示した指標に加筆

「物差しを変える」動きは、企業レベルではすでに広がり始めている。報告書は、企業活動が生態系に及ぼす影響について情報開示を求める国際組織「自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）」の取り組みや、環境会計の国際基準などの例を取り上げ、「生物多様性や環境の改善は公共・民間の投資で必須の基準になろうとしている」と歓迎している。

「規範の変化は急速に起きる」

今回の報告は理想主義的な面はあるが、自然科学、社会科学の垣根を越えた脱成長の議論は、これからどこに向かうのか。

脱成長論はこれまでもさまざまな批判や反論を浴びてきた。「実質的にリセッション（景気後退や不況）と変わらず、それ自体を目標に掲げるのはおかしい」「高所得国がエネルギーや資源の消費を減らせば、低所得国にも輸出減少という形で悪影響が跳ね返り、不均衡の是正にならない」といった反論だ。現実論としても、政治や経済の基本的な仕組みや法制度、規制を大胆に変革するのは容易ではない。

一方で、東京大学の橋本禪教授は「科学者による議論の背景として、市民を含め社会全体で成長をめぐる既存の見方に疑問が広がっていることは見落とせない。各国政府の承認が必要な IPBES 報告書が社会変革の道筋を示した意味は重く、ゆくゆくは国際政治や各国の政策の見直しに大きな影響を与えるだろう」と話す。

実際、国連のグテレス事務総長は、気候変動と生物多様性の損失、化学物質汚染を「地球の3重危機（トリプルクライシス）」と訴え、それを乗り越えるため「ビヨンド GDP」の重要性をしきりに訴えている。

何が変化のきっかけをつくるのか。IPBES 報告書が示したひとつの事例は示唆に富む。

レジ袋やフォーク、ストロー向けなどの使い捨てプラスチックは、以前は当たり前に使われていたが、海の汚染が問題になって以来、多くの先進国で姿を消しつつある。これは「人々の行動を左右する社会規範」が、便利さよりも環境の重視へと変化したため、「規範の変化は急速に起こりうる」と報告書は指摘した。

社会変革は、為政者が仕組みを変えるだけでなく、個人のものの見方や価値観の変化が原動力になる。科学者たちがメッセージを届けたいのは各国の政策決定者だけではなく、むしろ市民ひとりひとりなのかもしれない。

世界気温上昇 1.6 度 24 年、単年初の温暖化抑制目標超え

2025 年 1 月 10 日 16:14



ブラジルのアマゾン川の支流では温暖化の影響で干ばつが深刻になっている(2024 年 9 月)=AP

欧州連合 (EU) の気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス」は 10 日、2024 年の世界の平均気温が産業革命前に比べて 1.6 度高くなり、2 年連続で史上最も暑い年だったと発表した。気候変動対策の国際枠組み「パリ協定」で掲げる気温上昇幅の抑制目標である 1.5 度を単年で超えるのは初めてだ。

パリ協定の目標が守られているかは、1 年間の値だけではなく複数年の平均で判断する。気温の上昇幅が単年で 1.5 度を超えてもただちに目標未達成とはならないが、地球温暖化の深刻さは増している。

同機関によると、24 年の世界の平均気温は 15.10 度だった。平均気温が過去最高だった 23 年の記録を 0.12 度上回った。産業革命以前と同等の 1850~1900 年と比較して 1.6 度高く、1991~2020 年の平均と比較しても 0.72 度高かった。

産業革命前と比べて初めて 1.5度を超えた



(注) コペルニクス気候変動サービスの
データから作成

気温上昇の原因は、化石燃料の使用など人間の活動によるものだ。南米の赤道付近で海面水温が高い状態が続く「エルニーニョ現象」なども一因になっている。24年は世界の平均海水温も過去最高となり、南極域や北極域を除いて20.87度だった。

気温の上昇は猛暑によって健康や労働に影響を及ぼす。海水温の上昇は台風やハリケーンなどの勢力を強める。建物や農作物だけではなく人身被害も拡大させる。

米西部カリフォルニア州ロサンゼルス近郊で7日に発生した大規模な山火事も温暖化が一因とみられる。気温の上昇幅がパリ協定の目標で定める1.5度を超えると、こうした災害の影響がより大きくなる。

北極圏のツンドラ、数千年蓄えたCO₂ 排出超に

[サイエンス](#)

2025年1月1日 5:00



トナカイの仲間「カリブー」の個体数も減っている=Lisa Hupp 氏提供
米海洋大気局（NOAA）などは、数千年間にわたり二酸化炭素（CO₂）の貯蔵源となってきた北極圏のツンドラ地帯について、2024 年は CO₂ の排出量が吸収量を上回っていると明らかにした。温暖化による山火事と凍土が融解する影響によって環境が急激に変化していると警告した。

世界の 11 カ国、約 100 人の科学者が加わって、北極圏の温暖化の状況に関する報告書をまとめた。ツンドラには氷点下が 2 年以上続く「永久凍土」が広がり、夏に成長する植物が大気から吸収した CO₂ を長く蓄えてきた。気温上昇が山火事や凍土の融解を誘発した結果、CO₂ を吸収する効果を打ち消したと分析した。

北極圏での温暖化の進み具合の速さも指摘した。24 年には気温上昇が世界平均の最大 4 倍になった。年間の地表気温は 1900 年以降で 2 番目に高く、20 カ所のうち 9 カ所の監視点で永久凍土の温度が過去最高を記録した。

報告書ではトナカイの仲間「カリブー」の個体数が過去 20～30 年間で 65%減少しているほか、24 年の夏には降水量が過去最多になったことも指摘した。「北極圏の環境は急激に変化しており、新たな適応策と世界での化石燃料の削減が必要だ」と強調した。

気候変動「水の惑星」揺らす 発電・物流・農業にリスク

編集委員 下田敏

[Nikkei Views](#)

2025 年 1 月 2 日 5:00 [会員限定記事]



気候変動で水リスクが深刻さを増す（干ばつで水位が下がった南米チリの貯水池）＝ロイター

気温の上昇や異常気象で「水リスク」が高まっている。2024年は干ばつでパナマ運河が通航制限を迫られ、水力発電に頼る南米エクアドルは電力不足に陥った。水の使用量の約70%を占める農業にも影響は及ぶ。世界気象機関（WMO）は2050年までに、世界総人口の半分以上にあたる50億人超が水不足に直面すると予測している。

地球を循環する水の総量は変わらないはずなのに、なぜ水不足が深刻になるのか。

水不足は「偏り」が原因

世界の水問題や気候変動に詳しい沖大幹東京大学教授は「水は安定して循環しているわけではなく、変動の幅が大きい。お金のあるところとないところが偏って問題が生じるように、水の総量は変わらなくても、時間的・空間的な不均一性が起きる」と話す。さらに近年では「気候変動が利用可能な水の量を変えている」。



世界各地で氷河の融解が進む（イタリアのバレダオスタ州）＝ロイター

南極、北極に次ぐ膨大な量の氷を貯蔵するヒンドークシュ・ヒマラヤ山脈で氷河の融解が止まらない。ガンジス川やメコン川などアジアの主要河川に水を供給し、約 20 億人が利用している水源だ。世界平均の 3 倍の速さで温暖化が進み、今世紀末には最大で氷河の 75%が失われる可能性がある。

大洪水のあとに水の枯渇

氷河の急速な融解は自然災害をもたらす。24 年 8 月にはネパールで、氷が解けた水がたまっていた氷河湖が決壊し、大規模な洪水が発生した。氷河が後退し、大量の水となってあふれたあとは河川の流量が低下したり地下水が枯渇したりする恐れがある。世界のコメの 3 分の 1、小麦の 4 分の 1 を生産する地域が深刻な水不足に直面しかねない。

大西洋と太平洋をつなぐパナマ運河は 23 年 7 月から 1 年以上にわたって通航制限を余儀なくされた。通常なら 1 日 38 隻程度の通航枠が一時 20 隻あまりにまで絞り込まれた。記録的な干ばつで船舶の移動に必要な水が足りなくなったためだ。

パナマ運河は水門で水位を調整し、船舶を上下させながら高低差のあるルートを越える仕組み。湖から供給される水はその調整に使うが、干ばつで供給量が足りなくなった。パナマは年間降水量で世界第 5 位の国だが、ここ数年は気候変動で湖の水位がたびたび低下している。将来的に通航規制を繰り返すリスクは消えていない。



干ばつによるパナマ運河の通航規制で世界物流に影響が及んだ（パナマ）＝ロイター
南米エクアドルは 24 年 4 月から、最長で 1 日 14 時間もの停電に見舞われた。電力の 70%以上をまかっていた水力発電が水不足で稼働しないためだ。雨期と乾期にわかれるエクアドルは短期間に集中する降雨を貯水池にためて水力発電に使うが、気候変動で貯水池の水位が大幅に低下してしまった。

水力発電はあてにならず

エクアドルは国際協力機構（JICA）の支援を得て、マグマの熱を発電に使う地熱発電開発を進める。24 年 10 月に約 66 億円の円借款契約を結んだ。水力発電の信頼性が低下するなか、ペルーやボリビア、コロンビアも地熱発電所の建設を急ぐ。

東大の沖教授は「乾燥化が進んでいる地中海沿岸、人口が増加する南アジアなどで水不足が心配される。利用する水の量を平準化する貯水池や水路などのインフラが整っていない国や地域は、影響が深刻になる恐れがある」と指摘する。

水不足で最も懸念されるのは食料の供給不安だろう。



利用可能な水の 70%は農業に使われる（セルビアの干ばつでしおれたヒマワリ）=AP
国連食糧農業機関（FAO）土地・水資源部のイップ・ホーフベーン氏は「世界全体でみれば、水使用量の約 70%は農業に使われている。たとえば、1 キログラムの小麦を生産するには 1000 リットルの水が必要になる。農業生産に十分な水がある地域でも、気候変動によって降水量が以前ほど安定しなくなっている。時には多くの雨が降っても、それが海に直接流れ込んでしまい、長い干ばつに見舞われるようなケースがみられる」と話す。そのうえで「多くの水を使う農業と、人々に必要不可欠な飲料水、エネルギーや産業向けの工業用水の間で熾烈（しれつ）な競争が起き始めている」とも指摘する。

人口増加はなお続く

世界人口は現在の約 81 億人から 60 年前後には 100 億人に増える見込みだ。1960 年代からの人口爆発のペースはいくぶん緩みつつあるが、さらに水と食料が必要になるのは確か。穀物より多くの水を必要とする肉類の消費拡大も見込まれる。

FAO のホーフベーン氏は「作物に効率的に配水する点滴灌漑（かんがい）、排水の再利用を進める必要がある。何より水と食料を無駄にする食品ロスを減らすことが求められる」と訴える。FAO は、30 年までに小売店や家庭の食品ロスを半減させるだけで、飢餓人口を 26%削減できると試算している。

日本にとっても人ごとではない。カロリーベースの食料自給率が 38%にとどまる日本は大豆や小麦などを海外からの輸入に頼る。環境省によると、これらの食料を生産するための水を輸入したとみなして推計したバーチャルウォーターは年間で約 800 億立方メートルと、国内の水使用量に匹敵する。海外の水不足とは無縁ではいられない。

地球は「水の惑星」といわれる。確かに表面のおよそ 3 分の 2 は水で覆われるが、実は 97.5%は海や塩水湖などの塩水だ。残る 2.5%の淡水も、そのほとんどは氷河だったり地下水だったりして、人が利用しやすい河川や湖沼などの水は 0.01%しかない。そんな「塩水の惑星」の淡水資源が気候変動で揺らぎ始めている。

著者プロフィール) Writer`s profile.

うときゅう いっき (writer`s name utokyu ikki or Khazu san)

本名 宇都宮一貴 (うつのみや かずたか)

1953 年東京生まれ (was born in 1953 in Japan.)

早稲田大学第 1 文学部露文学科を 2 回留年の後、卒業。

国内電機メーカー家電製品商品企画部に 20 年間勤務。同子会社経理部等に 16 年間勤務。

40 歳から 52 歳まで 12 年間うつ病を罹患。

左遷、リストラ、降格、離婚、家族崩壊等を経験。

定年後、株式会社うと Q を設立 (After retirement from Toshiba, established, "utokyu corporation" in 2014)

現在主業はネパールカレー屋。 (Now main business Nepali curry restaurant, "Namaste everybody" owner)

趣味は観察すること、考えること、書くこと、盗撮はしないスマホ・カメラの四つの k。

著者名は苗字、宇都宮一貴の音読みで、中学校時代の仇名。

宇宙の「う」

東京都の「と」

宮殿の「きゅう」

数字の「いち」を詰まり音便で「いっ」

貴族の「き」

で、うときゅういっき となります。

漢字表記にしますと、かなり御大層な人物に見え、実態に全くそぐっておりませんので、誤解を招かぬよう音読みひらがなで表記しております。

ホームページ：<http://utokyu.co.jp>

(出版情報)

著 者 うときゅういっき

発行人 宇都宮一貴

発行所：株式会社うと Q ナマステ別館堂出版部

〒215-0018

神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5 丁目 3 4 番 7 号

電話 (phone)：044 - 989 - 1698

発 売 株式会社 うと Q ナマステ別館堂出版部

編 輯 しばらくの期間「ナマステ別館堂出版部」

カバーデザイン & DTP 製作 当面の間「ナマステ別館堂出版部」及び「ナレッジフォレスト 大竹鉄哉」

©Kazutaka Utsunomiya uploaded in Japan from 2020

発行日：2025 / 1/12 日初版発行 (12th Jan. 25 released.)

本書の一部または全部について、著作権上、著作権者の承認を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。All cory rights reserved.

(その他著書)

- 多数
- 尚、掲載写真は全て google 画像サイトの著作権フリーのものをダウンロードして使用しております。当社には著作権、版權は全くない事を明記させて戴きます。